

第6回 松本若者ブレスト



実施報告書

開催日時 : 令和8年1月18日(日) 10:00~11:30

開催場所 : 市長応接室

参加グループ : WE ♥ おやき (ウィーラブおやき) (4名)

「テーマ」 : 若者にこそ、おやきを食べてほしい！！



意見交換（オリジナルおやきの開発）

オリジナルおやき開発から販売までの経緯	市長回答
<p>○市内のおやき店で購入したおやきを食べ、おやきの美味しさに気が付いたことをきっかけに、若者の間でおやきを食べる習慣があまりないことに気が付いた。</p> <p>○おやきの具材は野沢菜や切干大根などで、若者にあまり馴染みがないことや、販売されている場所が限られることが、若者の間におやきがあまり浸透していない理由ではないかと考えた。</p> <p>○おやき店との縁があり、オリジナルおやきの共同開発をすることになった。</p> <p>○高校生側は20種類以上のおやきの具材を考案し、若者が好むような味や食感になるようにお店側に提案した。</p> <p>○商品化したおやきは「ミートソース」「チョコバナナ」「じゃがバター」の3種類。</p> <p>○商品化したおやきは、高校の購買や、市内で行われたイベントで販売し、好評だった。 購買では2週間販売して毎日完売し、メディアにも取り上げられた。</p>	<p>「おやきを食べる習慣」 私が子どもの頃でも、おやきを日常的に食べる習慣はなかった。</p> <p>「味や食感について」 おやきの皮は肉まんやあんまんに比べ、厚くて少し硬い感じがする。 オリジナルおやきの具材は、味がしっかりしていて、皮の厚さに負けない味になっている。 おやきはどちらかというとしょっぱい味の具材のイメージだったが、甘い具材も合うことが分かった。</p> <p>「試食の感想」 4種類ともおいしい。</p>



意見交換（販売場所の拡大）

販売場所の拡大	市長回答
<p>○市役所や松本城の売店でおやきを販売できないか。 松本城は外国人観光客も多く、販売数をもっと伸ばせるかもしれない。</p>	<p>「市役所の食堂、売店」 現在市役所に食堂はなく、売店も令和7年末をもって閉店した。</p> <p>「松本城の売店」 観覧料を払った先の本丸庭園にある。 食品を売るにあたってのルールなどをみなさんと調査してみても教えてほしい。 販売価格、どのくらい入荷できるのか等、おやき店との調整も必要になってくる。</p> <p>「旧博物館が解体され広がったスペース」 松本城の観覧料を払わなくて良い場所にあり、これから様々なイベントを行うスペースとして有効活用していきたい。</p>



意見交換（バスの利便性向上）

バスの利便性向上	市長回答
<p>○朝の通学で乗るバスが大変混雑し、本数も多くはないので、乗り遅れると遅刻してしまう。</p>	<p>「松本市とアルピコ交通株式会社との関係」 松本市がアルピコ交通株式会社に出資しており、どの路線に何本走らせるといった具体的な依頼をして運行している。 市民側から要望があれば、松本市としてはアルピコ交通株式会社に要望を出すことになる。</p> <p>「ドライバー確保が課題」 バスの増便とセットで課題になるのがドライバーの確保。 現状、ドライバー確保が困難になっている。 ドライバーが増えない状況で、1つの路線の本数を増やすと、どこかの路線の本数を減らす必要があるため、全体のバランスも考えないといけない。</p>
<p>○朝の通学時、高校方面へ向かう道路に幅員の狭い箇所があり、自転車の通行量も多いため、バスが自転車を追い越しにくい状況になっている。 遅延の発生、接触事故の危険もあるので、改善できないか。</p>	<p>道路を拡張することは難しいため、現状を調査し、バスの運行経路を見直す等の対策が必要かもしれない。</p>
<p>○バスがどのくらい遅延しているかが分かるアプリがほしい。</p>	<p>松本市公式LINEの中でバスの位置情報が分かるようになっていたので、みなさんぜひ友達登録してほしい。</p>



ご参加いただいた方からの感想

- 市長が私たちが考案したおやきを食べてくれて嬉しかった。
- 市長と話せる貴重な体験ができた。
- 市長と松本市のことについて話すことができて楽しかった。
- 松本市について、いろいろ知ることができて良かった。

ご参加いただき、ありがとうございました。

